

2020年3月25日
公益社団法人 日本フェンシング協会
会長 太田 雄貴
強化本部長 福田 佑輔

東京2020オリンピック大会延期決定に伴う当協会の対応について

平素より当協会の活動に格別のご理解とご協力を賜り、深く感謝を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症に対する強い懸念が世界的に広がる中、3月24日、国際オリンピック委員会（IOC）トーマス・バッハ会長と安倍首相の共同声明として、東京2020オリンピック大会の開催延期の発表がありました。

延期決定につきましては、言うまでもなく、開催国の一スポーツ競技団体と致しまして誠に残念ではありますが、国際オリンピック委員会（IOC）、並びに、関係諸機関・各位におかれましては、大変難しい決断をしていただいたことに敬意を表します。

【今回の決定を受けた当協会の対応について】

・国際フェンシング連盟（FIE）は、既に発表を行ったワールドカップ・グランプリ大会の実施延期に加えて、今後の競技日程、並びに、開催期日に変更となりました東京オリンピック大会の代表選考基準について決定する運びであり、当協会としてはその詳細決定を待つ必要があります。

・当協会では、予定されていたワールドカップ・グランプリ大会の実施延期を受けて、大会参加のため海外に遠征に出ている男女各種目のナショナル・チームを日本に帰国させた後、HPSC（国立科学スポーツセンター、ナショナルト・レーニング・センター）への入館を2週間禁止とし、不慮の選手間感染や練習場の汚染を防ぐとともに、選手の健康状態の把握に努めて参りました。

・選手の体調に異常がないことが確認された後、3月末を目処として、ナショナル

ル・チームの練習を再開する予定です。当面の対応と致しましては、引き続き選手・コーチ等の体調管理に努めるとともに、練習時間を短縮することで、練習場内に入る選手数が過大とならない様に調整するとともに、朝夕の混雑時に公共の交通機関の利用を回避出来るようにする等の配慮を行う方針です。

【太田雄貴(当協会会長)コメント】

オリンピックは、アスリートにとってかけがえのない競技大会です。全てのアスリートが平等な練習環境の下で準備をし、安全な環境でベストのパフォーマンスを発揮できるならば、それは「アスリート・ファースト」の願いに叶うものであると思います。

また、オリンピックは、世界中の人達にとりましても比類するものがない大きなスポーツ・イベントです。観ていただく全ての方々に、安全な環境の中で、ベストのパフォーマンスから感動を受け取っていただきたい、という願いもあります。

今回の決定が、アスリートのみならず世界中の人々にとって、現在の状況の下で、最良の決断であることを心より祈っております。

東京 2020 オリンピック大会については引き続き見通しを立てることが難しい状況ですが、どの様な展開におきましても、選手たちが安全な環境下、最適なパフォーマンスが発揮出来る様に努めてまいります。また、選考基準やスケジュール等について新たな情報が入り次第、ご案内させていただきます。今後ともご理解とご協力を賜ります様、心よりお願いを申し上げます。

最後となりますが、罹患されている皆様の一日も早い快復を祈念するとともに、新型コロナウイルス拡散と懸命に戦っている医療関係者の皆様に心より感謝を申し上げます。

以上